

令和4年12月1日

地域振興課 担当：杉森 内線：3685 直通：076-225-1335
--

「いしかわ地域づくり円陣2022」の開催について

石川地域づくり協会（事務局：県地域振興課）では、令和4年12月3日（土）に住民主体の地域づくり活動の促進を目的とした研修交流会「いしかわ地域づくり円陣2022」を次のとおり開催します。

1. 主 催 石川地域づくり協会、石川県
2. 開催日時 令和4年12月3日（土）13:00～（受付12:30～）
3. 参加方法 会場（石川県地場産業振興センター本館3階）または
オンライン会議システム「Zoom」
4. 参加費 無料
5. 概 要 （1）石川地域づくり表彰授賞式（13:00～）
（2）分科会【第1～第4分科会】（14:15～）
（3）全体会（16:30～）
（※詳細は別添のチラシをご覧ください。）
6. お問い合わせ先
石川地域づくり協会事務局（石川県企画振興部地域振興課内）
TEL：076-225-1335 FAX：076-225-1328 E-mail：chiiki1@pref.ishikawa.lg.jp

令和4年度 石川地域づくり協会

いしかわ **地域づくり**

engine
円陣
2022

参加者募集

事前申し込み制
参加無料



会場参加+オンライン
シンポジウム

**つないできたもの、
つないでいくもの**

～祭礼・工芸の継承から学ぶ地域づくり～

●分科会●

祭りのつなぐもの ～青柏祭入門講座～
(石川地域づくり協会)



祭りから教わった、若手商店主が創る街
(北國とおり町にぎわい協議会)

地域の魅力をアートで発信
(奥能登国際芸術祭実行委員会)



伝統工芸を受け継ぐために地域は何ができる？
(輪島漆再生プロジェクト実行委員会)

祭礼や民俗芸能、伝統産業などの「受け継がれてきたもの」は、地域の魅力発信やコミュニティの形成・再生の役割を果たしていますが、コロナ禍や人口減少などの時代潮流に晒され、持続性が揺らいでいます。

新たに始めた祭りやイベントの事例もまじえ、地域づくりの視点から、これから「何を」「どうやって」つないでいくのかを一緒に考えましょう。



写真提供：石川県観光連盟

開催日時：**令和4年12月3日(土) 13:00～17:30 (受付12:30～)**

「石川地域づくり表彰」授賞式／分科会／全体会／情報交流コーナー

参加方法：以下の方法で参加できます。(定員に達し次第、締め切ります。)

1：会場で参加 (募集定員100名)

〔会場〕石川県地場産業振興センター 本館3階
(金沢市鞍月2丁目1番地)

2：オンラインで参加〔第2分科会のみ〕(募集定員80名)

ビデオ会議システム「Zoom」を使用。
参加申し込みをされた方に招待URLを送信します。

募集対象：地域づくり関係者、企業・事業者、公務員、学生など、地域づくりに取り組んでいる・関心のある方ならどなたでも参加できます。

参加費：**無料**

地域づくり円陣とは？

石川地域づくり協会が毎年開催しているシンポジウムです。地域を思う人たちが集まって円陣(えんじん)を組み、地域づくりの原動力(エンジン)をパワーアップさせます。

主催：石川地域づくり協会、石川県
※石川地域づくり協会の運営委員とコーディネーターが企画運営。
協力：石川県内の地域づくり団体のみなさん

●新型コロナウイルス感染拡大防止策に留意して開催します。
●会場にお越しの際は、マスク着用と検温にご協力をお願いします。

当日プログラムや参加申し込み方法はうら面をご覧ください。👉

12月3日(土)
プログラム

- 12:30～ 受付開始
- 13:00～ ①開会、令和4年度「石川地域づくり表彰」授賞式
表彰団体等の発表と表彰状授与、活動紹介
- 13:45～ ②オリエンテーション(有意義な参加に向けて)
- 14:15～ ③分科会【第1～4分科会】
- 16:30～ ④全体会
分科会での気づきや学びを共有し、それぞれの地域づくりにつなげるには?
- 17:30～ ⑤閉会(予定)

つないできたもの、
つないでいくもの
～祭り・工芸の継承から学ぶ地域づくり～



当日、お持ち込み
ください!!

【地域づくり 情報交流コーナー】

- 参加者と所属団体のちらしや広報物
- 地域づくり協会のメニュー紹介など

●分科会 ● ※石川地域づくり協会のコーディネーターが進行を担当。

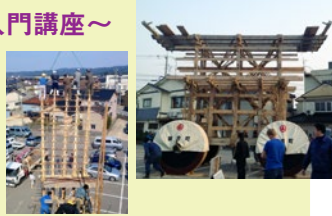
第1分科会

祭りのつなぐもの ～青柏祭入門講座～
石川地域づくり協会

青柏祭は七尾市の大地主神社(おとおこぬしんじや)の例大祭。この祭りの祭主を務める大森重宜氏は金沢星稷大学人間科学部スポーツ学科教授で「祭りの身体性と心性」も研究テーマの一つ。青柏祭はもとより全国各地の祭りに詳しい大森先生に「そもそも青柏祭とは」から語り起こしてもらい、祭りや地域づくりのつながりを考えてみたい。

〔ゲストスピーカー〕青柏祭祭主・大地主神社宮司 大森 重宜 氏
〔コーディネーター〕赤須 治郎

〔意見交換したいこと〕地域づくりとは地域を持続させる営み。青柏祭が千年以上も続いてきた理由、仕掛け、仕組みなどを大森氏からお聞きし、「つなぐ」を考えてみたい。



第2分科会

祭りから教わった、若手商店主が創る街
～アポなし店主突撃!からはじめるまちづくり～

北國とおり町にぎわい協議会(小松市)

2014年から龍助町・西町周辺のにぎわいつくりのため、マーケットや九谷焼ワークショップを開催。近年のコロナ禍では何ができるかメンバーで話し合い、オンラインのリモートツアーや感染症対策を踏まえた街歩きイベントを実施。

〔コーディネーター〕田村 薫

〔意見交換したいこと〕曳山や大獅子などの伝統の祭りを通じ、先人より受け継がれてきた教えや歴史をどのように次代に伝えていくか?



第3分科会

地域の魅力をアートで発信
～市民13,000人でつくる芸術祭を目指して～
奥能登国際芸術祭実行委員会(珠洲市)

不安がる市民を説得し、2017年に初めて「奥能登国際芸術祭」を開催。以降、移住者も増加し地域が元気に。作品制作や受付に参加し、大勢の来場者と交流することで市民の意識にも変化が生まれている。第3回展に向けて活動中。

〔コーディネーター〕北 豊弥

〔意見交換したいこと〕安定的に継続開催をしていくためには、地域住民の協力が不可欠。住民主体の地域活動に展開させるには?



第4分科会

伝統工芸を受け継ぐために地域は何ができる?
～作り手と使い手をつなぐ地域の役割とは～
輪島漆再生プロジェクト実行委員会(輪島市)

輪島漆再生を目的に2011年に設立。漆芸に関する従事者や行政、大学関係者、学生などで構成し、学習会や漆植栽などを行っている。近年は新商品開発の塾を企画し、2018年には成果物を伊勢丹新宿で展示した。

〔コーディネーター〕大西 直之

〔意見交換したいこと〕伝統工芸をもっと身近に感じてもらうためには?産業に従事しない地域の人たちの理解をどう創り出すか?ヒト、モノ、コト、カネの観点から議論を深めたい。



参加のお申し込み

下記のいずれかで「石川地域づくり協会事務局」までお申し込みください。お申し込み締め切りは11月30日(水)です。お申し込みの際は、お名前・所属団体・電話番号・メールアドレス・参加方法(会場かオンラインか)・参加プログラムをお知らせください。

メールで chiiki1@pref.ishikawa.lg.jp
FAXで FAX.076-225-1328

QRコードから
ホームページの
申込フォーム



お問い合わせ先・連絡先 石川地域づくり協会事務局(石川県企画振興部地域振興課内) 金沢市鞍月1丁目1
TEL.076-225-1335 chiiki1@pref.ishikawa.lg.jp 石川地域づくり協会 検索

参加申込書(FAX送信用)

※この申込書には2名分まで記入できます。 ※ご記入または該当するものに□✓を入れてください。

お名前	①	②
所属団体		
電話番号		
メールアドレス		
参加方法	<input type="checkbox"/> 会場(石川県地場産業振興センター) <input type="checkbox"/> オンライン(第2分科会が対象)	<input type="checkbox"/> 会場(石川県地場産業振興センター) <input type="checkbox"/> オンライン(第2分科会が対象)
参加プログラム	<input type="checkbox"/> 「石川地域づくり表彰」授賞式 <input type="checkbox"/> 第1分科会 <input type="checkbox"/> 第2分科会 <input type="checkbox"/> 第3分科会 <input type="checkbox"/> 第4分科会 <input type="checkbox"/> 全体会	<input type="checkbox"/> 「石川地域づくり表彰」授賞式 <input type="checkbox"/> 第1分科会 <input type="checkbox"/> 第2分科会 <input type="checkbox"/> 第3分科会 <input type="checkbox"/> 第4分科会 <input type="checkbox"/> 全体会